

第4学年 学級活動学習指導案

令和元年○月○日○校時  
 ○年 ○組 ○名  
 指導者 ○○○ ○○○

【年間指導計画の位置付け 4学年 4月計画 P. ○】

1 題材 「4年生になって」 (小学校の例)

内容(3)ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成

2 題材について

- (1) 児童(生徒)の実態
  - 題材に関する児童生徒や学級の実態を記述する。  
 (題材に係る事前の意識調査・アンケート・QU・アセス等の概要など)
- (2) 題材設定の理由
  - 児童(生徒)が自己の課題として真剣にとらえ、目標や方法などを意思決定できるように、学級生活における児童(生徒)の実態からこの題材を取り上げる必要性など、教師の児童観、題材観などについてまとめる。
  - 必要に応じて、各教科との関連を図った計画的な指導や、学年段階及び発達段階に即した系統的な指導に関わる配慮事項についても記述する。
- (3) 校内研修テーマとの関わり (2年研, 中堅研等については個人のテーマとの関わりを記述する)
  - テーマへ本時の授業を通してどのように迫っていくのかを記述する。

3 学級活動(3)の評価規準 (例)

※1時間ごとに評価規準を作成するのではなく、学校で(小学校は低中高で作成)定めた評価規準を記述する。

よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
働くことや学ぶことの意義を理解するとともに、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見いだし、解決のために話し合ったりして意思決定し、自己のよさを生かしたり、他者と協力したりして、主体的に活動している。	現在及び将来にわたってよりよく生きるために、自分に合った目標を立て、自己のよさを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。

4 事前の指導と児童(生徒)の活動

日時	児童(生徒)の活動	指導上の留意点	◎めざす児童(生徒)の姿(観点) 【評価方法】
○月○日(△) 帰りの会	・アンケートやノート等に記入する。	○児童と保護者にとつたアンケートを提示する。 ○3年生を振り返るとともに4年生として、「理想の学級・なりたい自分」について考えるように知らせる。	◎自分のよさや可能性を生かしてなりたい自分について考えることができる。 (思考・判断・表現) 【アンケート・ノート】

○アンケート調査を行うなどして、題材に対する学級の実態を捉えるとともに、題材に対する一人一人の問題意識を高める。

## 5 本時の指導と児童生徒の活動

### (1) 本時のねらい

これからの学級や学校生活に希望や目標をもち、自分なりのめあてをもって、学校生活を送ることができるようにする。

### (2) 本時の展開 (記入例)

過程	児童（生徒）の活動	指導上の留意点	資料	◎めざす児童（生徒）の姿 （観点）【評価方法】 （生徒指導の3つのポイント）
導入 ○分 つかむ	1 3年生の1年間を思い出し、自分や友達、自分たちの成長について話し合い問題意識を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年生の1年間で様々な経験や努力したことを振り返り、一人一人が成長したことに気付くことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートをまとめた表</li> <li>3年生を振り返って記入したノート</li> </ul>	<p>〈自己存在感〉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>〈生徒指導の3つのポイント〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自己存在感</li> <li>○共感的人間関係</li> <li>○自己決定の場</li> </ul> </div>
展開 ○分 さぐる・見つける	<p>2 これまでの自分を振り返って「なりたい4年生」について自分の願いをもつ。</p> <p>3 「理想の学級、なりたい自分」に近づくために、どのようなめあてにすればよいかを考え、話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習の見通しと意思決定すべきことが分かるよう、学習のプロセスを説明する。</li> <li>学級教育目標や担任の方針などについても具体的に話す。</li> <li>目指したい学級生活やそうした学級生活を実現するためにはどんなことに取り組んだらよいか話し合うようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習カード</li> </ul>	<p>◎よりよく生きていくために自分のよさや可能性に気付き、今できることに努力して取り組むことが大切であることを理解している。</p> <p>（知識・技能） 【学習カード・発言】</p>
終末 ○分 決める	4 「なりたい自分」に近づくために、今がんばることを決め、めあてカードに書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践可能な具体的なめあてや実践方法を定めることができるようにする。</li> <li>めあてを立てることが難しい児童（生徒）には、個別に言葉かけをする。</li> </ul>	めあてカード	<p>◎なりたい自分に向けて、自分のめあてを意思決定することができる。</p> <p>（思考・判断・表現） 【めあてカード・発言】</p> <p>〈自己決定〉</p>

- ※課題の現状，事実などが学級の一人一人に共通する課題であることが理解できるようにする。
- ※アンケートや調査結果等を活用し，課題について改善の必要性を実感させ，自分自身の問題と捉えさせる。
- ※児童生徒の話合いや情報交換の場を設定し，友達の意見や教師の助言を参考にしながら，解決方法を考えさせるようにする。
- ※自分自身の課題を確認できるようにし，何をどのように努力したらよいかを考えて，より具体的な意思決定ができるようにする。
- ◆教師の手立てを具体的に記述する
  - どのような資料掲示をするのか     事前アンケートの内容     学習形態
  - 視聴覚機器利用 等
- ※目指す児童生徒の姿と評価方法  
「学級活動(3)の評価規準」を踏まえ，本時の展開における「目指す児童生徒の姿」を具体的に記述する。
- ※どのような方法で見とるかを記述する。  
<観察><学級活動ノート><振り返りカード>

### (3) 板書計画

「思考の可視化・操作化・構造化」の視点で，板書計画を行う。  
 「みんなでよりよい学級・学校生活をつくる特別活動（小学校編）」 P74～75  
 「学級・学校文化を創る特別活動（中学校編）」  
 ※別紙で大きく示してもよい

## 6 事後の指導と児童生徒の活動 定期的に振り返りの時間を設け，実践意欲の継続化を図る

日時	児童（生徒）の活動	指導上の留意点	◎目指す児童生徒の姿 （評価の観点）【評価方法】
○月○日(△) 帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の立てためあてや、実践方法を実践する。</li> <li>・自分の立てためあてや取組について振り返る。</li> <li>・友達同士で取組を確認し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事後に実践を振り返る機会を設定し、継続した実践になるようにしたり、必要に応じて新たにめあてを立てて取り組んだりすることができるように助言する。</li> <li>・学習で記入しためあてカードは、一定期間学級で取り組み、その後はポートフォリオ的な教材に保存し、いつでも確認できるようにする。</li> </ul>	<p>◎友達と励まし合いながら、意思決定した目標に粘り強く取り組み、これからの自分に必要なことを適切に判断しながら、進んで実践している。</p> <p>(思考・判断・表現) 【 観察 】</p>

○題材の内容によって，外部講師などの協力を得て指導するようにする。

#### 参考資料

- 小学校(中学校)学習指導要領解説 特別活動編
- 言語活動の充実に関する指導事例集 文部科学省 (小学校 H22. 12, 中学校 H23. 5)
- みんなでよりよい学級・学校生活をつくる特別活動（小学校編）  
平成30年12月 文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター
- 学級・学校文化を創る特別活動（中学校編）  
平成26年6月 文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター
- 小学校(中学校)キャリア教育の手引き 文部科学省 平成23年5月
- 「問い」が生まれる授業サポートガイド 2019年度版 沖縄県教育委員会